

11月届出分 戸籍の窓口

うぶごえ

- お誕生おめでとうございます。
- ・中内出 加藤 巧真くん
和馬・美里さんの子 10月29日生
 - ・根岸 倉澤 澄禾ちゃん
裕貴・未結貴さんの子 11月20日生
 - ・根岸 竹之内 杏ちゃん
涼・美穂さんの子 11月24日生

おくやみ

- ごめい福をお祈りいたします。
- ・追分 林 皆子さん
93歳 11月3日没
 - ・大河原 小沼 アサさん
89歳 11月10日没
 - ・吹張 高橋 よねさん
96歳 11月16日没
 - ・生越 林 とみ子さん
87歳 11月19日没
 - ・中組 堤 郁恵さん
78歳 11月23日没
 - ・南部 青木 俊博さん
81歳 11月24日没
 - ・田岸 横坂 福恵さん
82歳 11月26日没
 - ・吹張 高橋 和子さん
68歳 11月27日没
 - ・南部 阿部 一三さん
92歳 11月27日没
 - ・中組 真下 富士江さん
96歳 11月27日没

※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てください。



年金生活者支援給付金の
手続きをお忘れなく！

■10月から始まった年金生活者支援給付金については、日本年金機構から請求手続きのご案内が9月以降に送られています。

■手続きが遅れると、10月分からの給付金を受け取ることができなくなってしまうかもしれません。お早め(12月27日必着)同封されている請求書(はがき)を提出ください。


※A4の請求書が届いている方は、洪川年金事務所へ郵送してください。

※ご案内が届いていない場合でも、世帯構成等が変更となつた場合などは受給できる可能性がりますのでお問合せください。


▼年金生活者支援給付金の請求でお困りになったときのお問合せ先『給付金専用ダイヤル』0570-0514092または洪川年金事務所0279-122-11614

年金生活者支援給付金に便乗した詐欺にご注意！

厚生労働省および日本年金機構では、お電話でお客様の口座番号、暗証番号、マイナンバーをお聞きすることはありません。このような電話があつても、口座番号等の個人情報をお答えすることのないようご注意ください。



昭和駐在所からのお知らせ



◎横断歩道における歩行者優先の徹底を◎

群馬県警察では、信号機のない横断歩道での歩行者優先等の徹底と、交通指導取締りを強化しています。

○ドライバーのみなさんへ

信号機のない横断歩道を通るときは、進路の前方に明らかに渡ろうとしている歩行者等がない場合を除き、横断歩道の直前で止まれるような速度で進行しなければなりません。横断歩道を横断中だったり、横断しようとする歩行者がいる場合には、必ず一時停止して歩行者を渡らせてあげましょう。

横断歩道の手前で停止している車両がある場合、その停止車両の横を通過するときは一時停止し、歩行者が渡ろうとしていないか確認しましょう。

○歩行者のみなさんへ

道路を横断するとき、付近に横断歩道がある場合は必ず横断歩道を渡りましょう。

車が通過する直前や直後の横断は大変危険ですので、道路を横断するときは余裕を持って、しっかり安全確認をしましょう。

このほか、道路の斜め横断は許可されている交差点を除き渡ってはけません。また、標識で横断が禁止されている道路は渡れません。

POLICE INFORMATION

クイズキャッチボール

問題です。11月22、23日に行われた文化祭は、第〇回でしょうか？

応募規定 ▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。▶**賞品**：正解者の中から抽選で村商工会商品券500円分を差し上げます。▶**締切**：1月6日(月)▶**応募方法**：問題の答えと、住所・氏名・年齢・広報しようわへのご意見を書き、次のいずれかにより応募ください。

- <ハガキでの応募>
〒379-1298 企画課「広報10月号」係
- <メールでの応募>
kikaku@vill.gunma-showa.lg.jp
件名→「広報12月号」係

▷11月号のクイズの答えは「第22回」でした。当選者は次のとおりです。(敬称略)。おめでとうございます。

★真下 和幸(58歳)森下

はつらつトーク

「令和元年の結びに」



山後 翼さん
(23歳・中内出)

今回の登場者は、
綿貫あかりさん(22歳・鎌沢)です。
師匠です。(笑)

今年は何から令和に改元し、記念すべき年でした。令和元年最後の昭和広報を飾ってうれしいわ(笑)

昭和村で生まれ育ち23年が経ちました。そんな私も昨年結婚し、秋には息子が生まれ一児の父となりました。初めての子育てで子、親ともに試行錯誤の毎日です。その中で日々成長していく息子は頼もしく、大人ながら学ぶことばかりです。これからも元気にたくましく育てていきたいです。

また、私は「昭東」という、村のチームで野球をやっています。チームメートは面白い人が多く楽しくやらせてもらい、今は中心メンバーとして勝てるチームを目指して頑張っているところです。

消防団にも入り、多くの先輩方と活動し人と人とのつながりの大切さ、昭和村の人々の温かさを感じています。

これまで、この昭和村で育ててくれた両親に感謝し、これからは私たちが主体となり、さらに昭和村を盛り

上げていきたいです。いつかは子の世代と昭和村について杯を交わし語り合える日を願って。あ〜焼酎水割りです。

「わたしから見たお父さん」

わたしのお父さんは、しょうぼうだんの分だん長です。火じの時は、わたしたちがねている時や、あさ早くに出かけて、しょう火活どうをしてくれています。

11月8日の金曜日、おとうさんは、ひなんくんれんで東小学校に来てくれました。きをつけ、のしかたがびしっとしててかっこよかったです。

お父さんは、のうかのしごともやりながら、分だん長をしていてすごいなあと思いました。あと、いっぱいおしごとをしてくれてとっても、とってもかんしゃしています。そんなやさしくてかっこいいお父さんのことが大好きです。

だけど、たまには、おしごとの休みの日はお出かけをねだらないで、ゆっくりねかしてあげたいです。

さいごにお父さんへメッセージです。いつもおしごとがんばってくれてありがとう。

はばたけ！ 昭和村消防団

消防団員やサポートしている方々の「生の声」をお届けします！



横坂 春乃さん (写真中央)
〔父 第8分団 分団長〕
横坂 智和 さん

広報文芸

俳句

天然の舞茸見つけ唯感動
秋草を生けて客待つ侘住い
晩秋の峡や鴉の鳴くばかり
老いていま思ひめぐらす遠き日々
我が余生計るは難し冬立ちぬ
村まつり友より届く栗おこわ

花茂 喜右
須藤 澄子
真下 章子
梅沢 まつ
杉木 哲二
藤井 君枝

短歌

コスモスと稲のことなど母に書き妹は伊勢に一泊と添ふ
古りし株ほぐしし蕪に施肥もせば青青のぶれど使ふ人なき
年重ね次はなきかと思ひつつ琵琶湖の夜景目にやきつけぬ
洋服を買ひ来し夜はファッションショー次ぐ日は夫と農にいそしむ
静か夜に秋を告ぐるやこほろぎは肩に止まりて跳ねてゆきたり
草もみぢの廢校の庭歩みつふとロザさむ校歌なつかし
熊出るな道辺に落ちし山の栗拾ひる間のひととき思ふ
パママと呼びるし二歳がいつしらに「おとうたん」笑みてかけよる

◎黒土短歌会では会員を募集しています。詳しくは企画課まで。

倉澤美代子
板橋きみ江
堤 みゑ
林 千恵美
堤 あさ江
倉沢さなへ
藤井 君枝
和田ひとみ